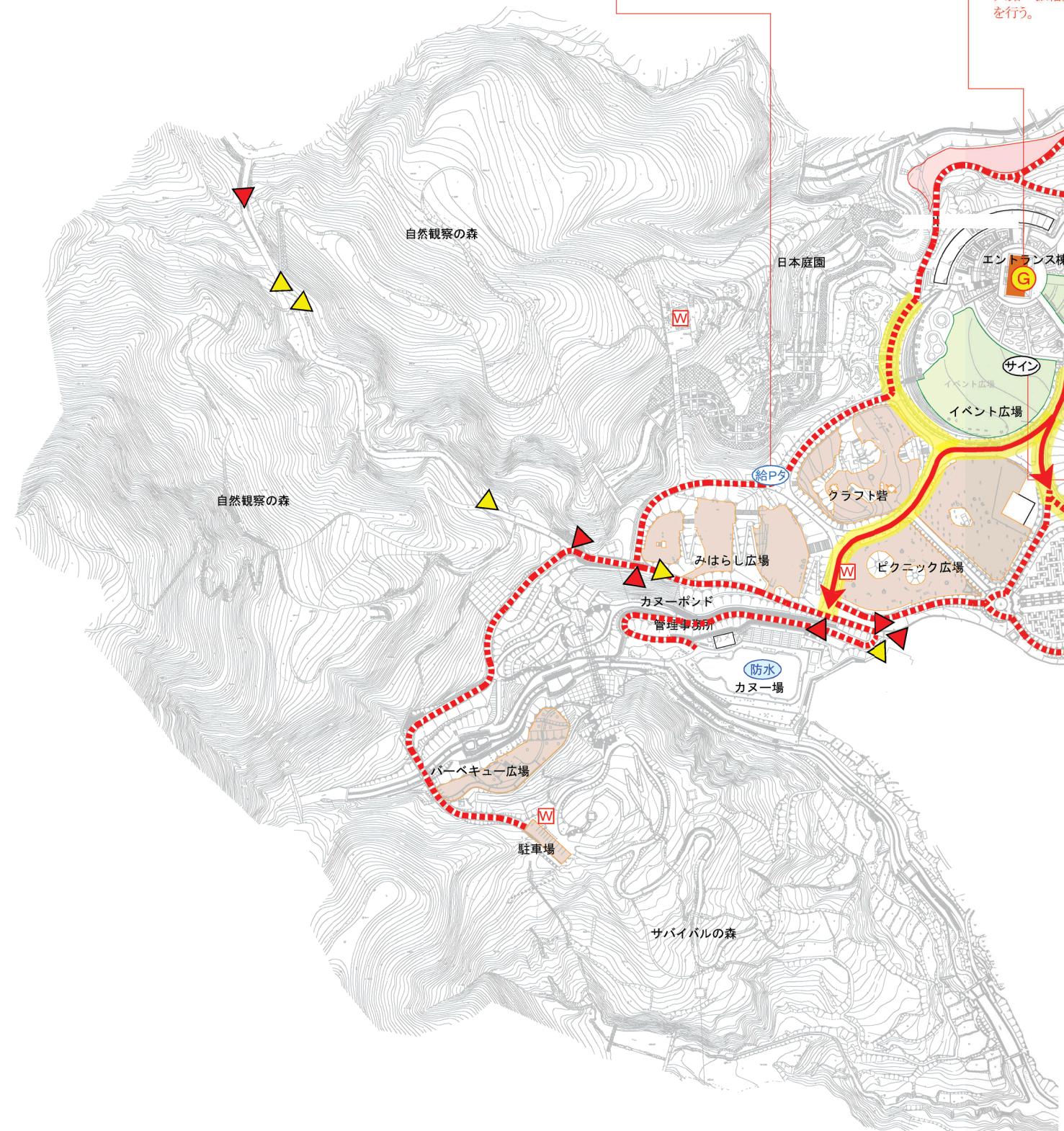


□ 既存公園内施設

凡 例	項 目
△	緊急車両出入口 (大型車両対応) 既設
◀	車両出入口 既設
◀	歩行者出入口 既設
防水	防火・消火用水確保地
現	現地対策本部
■	災害時利用建物
—	緊急車両動線 (相互通行6.0m)
···	緊急車両動線 (一方通行4.0m)
給Pタ	給水タンク・ポンプの改良
W	トイレ
W	災害時対応トイレ
H	ヘリポート

■ 防災公園整備の内容

凡 例	項 目
■	防災備蓄倉庫
サイン	災害時利用案内板の整備
G	非常用電源設備整備



■ 防災用水確保地整備

・既設高置水槽には、緊急遮断弁は設置済であるが、蛇口が未整備であるため、水槽に残っている水の災害時利用を図るために、高置水槽に蛇口を整備する。

■ 非常用電源改修整備

・エントランス棟は消防又は警察の部隊活動に用いられる可能性もあることから施設の継続利用を図るために、非常用電源設備を整備する。

■ 車両集結地の改修

・部隊展開の利用性向上に向けた既存の車両集結地の改修を行う。
・部隊活動しやすく、車両が安全に活動拠点に進入できるスムーズな動線を確保すべく、進入路の拡幅整備及びグレーチングの改修などを行う。

■ 煙硝倉橋の耐荷補強

・部隊活動に用いられる大型車両に対応した、焰硝倉橋の耐荷補強を行う。

■ 防災備蓄倉庫整備

・公園管理事務所内では、職員の食料や飲料水の備蓄が難しいと思われるため、事務所周辺に防災備蓄倉庫を整備する。

■ 非常用電源設備整備

・公園管理事務所は、現地対策本部に加え部隊の活用も兼ねることから、既設非常用電源では容量不足である。そのため、事務所に加え、駐車場(消防活動拠点)、中央トイレ、ピクニックトイレ、イベント広場、エントランス広場の照明灯等の電源も兼ねられる規模となるように、非常用電源設備の増設を行う。

■ 一時的避難地整備

・災害時に公園利用者の一時的避難地(退避スペース)になることを周知するため、災害時利用案内板を整備する。

■ 非常用電源設備整備

・大花壇(警察活動拠点)の照明灯及びトイレ施設の継続利用を図るために、非常用電源設備を整備する。

■ 車両集結地の改修

・部隊展開の利用性向上に向けた既存の車両集結地の改修を行う。
・車両が安全に活動拠点に进入できるスムーズな動線を確保すべく、进入路の拡幅整備を行う。

■ 震災時利用計画

凡 例	項 目
■	①消防活動拠点
■	②自衛隊活動拠点
■	③警察活動拠点
■	④緊急車両集結地
■	⑤一時の避難地
■	⑥夜間照明強化園路 (非常用電源対応)

整備計画図(案)
【富士川クラフトパーク】
S=1:2000(A1) S=1:4000(A3)